

雲中に在りて雲上を想う

校長 宅島 健司

最近、「田原台の風」の巻頭言を書くために、自分のことをかなり切り売りしているように思います。これまでも、読書や映画、音楽等自分の好きなものを書き連ねてきました。私は当年とって紛れもなく60歳ですが、ONE OK ROCKのファンで、CDを初期の作品「ゼイタク病」「感情エフェクト」から最新作「Eye of the storm」まで8枚所有しています。最近ではGLIM SPANKYのヴォーカル松尾レミのだみ声に嵌（はま）っていて、「愚か者たち」は最高傑作だと思っています。ロックだけかという、例えばジャズの帝王と呼ばれたマイルス・デイビスのコンサートには「Live Under the Sky」（何と懐かしい響きでしょう）で、東京と北九州の2会場に行きました。ジャズと言っても多岐にわたりますが、かなりの数のCDを持っています。その他のジャンル、ブルースとかロックとかでは、ジャニス・ジャップリンやトム・ウェイツのようなこの上もないだみ声が好きですし、レゲエではお決まりですがボブ・マーリーの「Exodus」が好きです。

漫画も読みます。感動したり笑ったりその世界にどっぷり浸かったりしていました。所有しているのは、古くは「子連れ狼」（原作 小池一夫、作画 小池剛夕）、「What's Michael」（小林まこと）等から「SLAM DUNK」、「バガボンド」（井上雄彦）等を経て、継続して読んでいるのが「ゴルゴ13」（さいとうたかお）、「あひるの空」（日向武史）などです。その他かなりの種類と数の漫画も所有しています。30年ほど前、ジブリの作品「風の谷のナウシカ」（宮崎駿）も初見はアニメではなく漫画で読み、5冊本を所有しています。もちろんご多聞に漏れず、「北斗の拳」（原作 武論尊、作画 原哲夫）にも嵌りました。

かと言って一番嵌っているのは、途中15年ほど空白期間はありますが、NBAです。30年ほど前ですが、マイケル・ジョーダンの試合（BS放送）は、ほとんどビデオに撮っていたと思います。マイケル・ジョーダン、マジック・アービング・ジョンソン、ラリー・バード等往年の名選手たちのプレーを同時代として見ています。今年1月亡くなったコービー・ブライアントもロサンゼルスレイカーズに入団した背番号8の初期をよく知っていますし、大ファンでした。今は、ステファン・カリー率いるゴールデンステート・ウォリアーズのファンで、クレイ・トンプソンとのスプラッシュ・ブラザーズやドレイモンド・グリーン等スモールラインナップと言われるメンバーで、去年まで5回連続NBAファイナルに進み、3度のチャンピオンズリングを手に入れています。

何故しつこく自分の好きなものを並べたかという、「豊かさ」について君たちに伝えたいことがあるからです。日本には古くから数多くの色が存在します。それは、着物をつくるなどのために反物の染付が盛んに行われてきたからです。磁器の染付も関係しているかもしれませんが。私が確認しただけでも赤系の色（96）、緑系の色（82）、茶系の色（72）種類などこと細かな違いの色に名前がついています。驚くことに単純に思える黒白系の色でさえ45種類の色に名前がついています。色の基本は考え方も色々ありますが、24色と言われます。それだけの違いがあれば、大方生活には不自由しないはずですが。

しかし、日本にはほんの微妙な違いの色に名前を付け、それを共通認識している人が数多くいて、反物の売り買いやある作品を愛でる時などに使用してきたわけですが。私たちは世界を言葉で切り取り、言葉により構築された世界の中で生きています。この世界にある微妙な差異の色に名前を付け、共通言語として情報を伝達し合っていることに驚かされますし、豊かなことだと思いませんか。

幅広いポキャブラリーがあり、それを用途によって駆使して、こと細かく表現する。また、表現されたものを理解できるということは豊かなことではありませんか。新しい知識を得ることは新しいものごとを発見することです。その中で自分が向き合いたいものを見つけることができれば、何ともしあわせなことでしょう。この世界は様々な不思議と驚きと美しさと素敵なものに満ち溢れています。好奇心旺盛にして興味深いものに気付くことも豊かさだと思います。例えば矛盾の束と言われる人に着目しても、心を様々な場面で異なる感情表現として表すことができることは、この上ない豊かなことではないでしょうか。感性の豊かな人たちは、言葉を駆使して微妙な人の気持ちを詩や短歌や俳句として表現したり、歌詞にしたり、微妙な人間関係やその機微を小説という形で表現したりしています。アーティストや芸術家は人が持っている感性を音で表現したり、絵という形でキャンバスに表現したりしています。その世界もあらゆるジャンルに分けられ、日々新しいものが生まれています。

あなたがこれしかないと思っている好きなものが本当にそうだろうかと考えてみてください。本当にそれが最高なのかを考えてみてください。あなたが知らないだけ出会っていないだけなのかも知れません。それこそ感性豊かに多くのものごとを見聞き、触れてみてください。

受験勉強に辛い苦しい思いをしているかもしれない55回生。思春期で自分を持て余しているかもしれない56、57回生。表題の如く今は先が見えない雲の中にいるようで、その中でもがいているように感じているかもしれませんが、あなたが興味のある心を芽吹かせるような新しい世界を探索できる日が必ずやってきます。そこは美しい青空に覆われている世界です。どうかそれまで、自分が今できることすべきことに取り組んでみてください。気づきにくいですがあなたは一步一步「青空の下」に近づいています。

体育大会

今年度は新型コロナウイルスへの感染防止対策のため、例年とは違う形での体育大会を余儀なくされました。特に、無観客という苦渋の決断の中での実施ということで、保護者の皆様へは生徒たちの一生懸命な姿をお見せすることができず大変申し訳ありませんでした。

体育大会の前日には台風9号の襲来もあり、延期の可能性もあった中、生徒の登校状況を確認し、生徒職員でグラウンドの設営を午前中のうちに行い、午後からの開催となりました。

| | | | | | |
|------|-----------|--------|-------|-----|-------|
| 【結果】 | （総合の部） | 優勝 | 黄ブロック | 第2位 | 青ブロック |
| | （競技の部） | 優秀賞 | 黄ブロック | | |
| | （応援の部） | 優秀賞 | 赤ブロック | | |
| | （学級対抗リレー） | [1年]男子 | 1位2組 | 女子 | 1位2組 |
| | | [2年]男子 | 1位4組 | 女子 | 1位2組 |
| | | [3年]男子 | 1位2組 | 女子 | 1位2組 |

当日の写真を本校ホームページに掲載しています。



西高祭 西高祭を振り返って

新型コロナウイルスの影響もあり、例年とは違う幕開けとなった今年の西高祭。それでも3年連続本校校長を囲んだ職員合唱『あと一つ』に学校全体が勇気づけられたオープニングとなりました。

煌然 ～芽吹く我らの文化～をテーマに9月10日、11日の両日、西高祭を開催いたしました。本年度は例年より多くの文化部を巻き込みチャレンジした『文化部コラボレーション』。年々その完成度の高さに、先輩から後輩へと受け継がれた伝統を感じることができました。今年はコロナに負けない運営を目指し、3密を避けた工夫を学校全体で取り組み、生徒職員全員に配布されたマスクには、『MASK DE MODE WITH CORONA』の願いを込めて、各々が自分でデザインしたマスクを着用して参加しました。このような状況下だからこそ、不自由さをアートに変える今年の取り組みは、今後の学校活動でも生かされるはず。また、限られた時間の中でもクオリティの高い西高祭を目指し準備を進める姿は本当に西高生の逞しさを感じました。

1日目は3年生のみ、2日目は1・2年生を対象に、初めて学年別の3部構成での実施となりましたが、各クラス趣向を凝らした展示や動画、劇と様々な催し物に生徒が楽しく観覧する姿が大変印象的でした。今年は外部無観客と、校内の賑わいこそなかったものの、可能性を追求して開催できたことが何よりの収穫でした。また、閉会セレモニーでは、吹奏楽部の演奏で彩られた校歌、来年こそはまた全員で肩を組んで校歌を歌う日が来てほしいと切に願いながら、今年の西高祭も幕を閉じました。



当日の写真を本校ホームページに掲載しています。

【各受賞一覧】

- ◎ゴールドウエスト賞 2-3 ○シルバーウエスト賞 書道部
- ポスター部門
- 最優秀賞 2-3 優秀賞 1-3・2-4

主な試合などの結果

<陸上部>

- 令和2年度佐世保地区高等学校新人陸上競技大会 **男子総合第2位 女子総合優勝!**
- 男子100m 優勝 岩村勇希(大会新)、第2位 大串翔大
- 男子200m 優勝 岩村勇希、第2位 大串翔大
- 男子110mH 優勝 田代立輝、第2位 加留部凧、第3位 手島日向
- 男子400mH 第2位 田代立輝、第3位 青井颯汰
- 男子走高跳 第1位 金丸慶太郎
- 男子三段跳 第1位 金丸慶太郎、第2位 深堀真太郎
- 男子4×100mR 第2位 岩村勇希、大串翔大、森豪太、手島日向
- 女子200m 第2位 北村和望
- 女子400m 優勝 森 愛里
- 女子800m 第3位 久保川 悠
- 女子100mH 優勝 岩崎萌(大会新)
- 女子400mH 優勝 森 愛里
- 女子走高跳 優勝 岩崎萌(大会新)、第3位 小林彩絵
- 女子走幅跳 第2位 廣重めかり
- 女子三段跳 優勝 廣重めかり、第2位 中竹七海
- 女子砲丸投 第2位 金武由、第3位 坂井悠空
- 女子円盤投 第3位 金武由
- 女子やり投げ 優勝 瀧下紗幸
- 女子4×100mR 優勝 竹内海加、森愛里、北村和望、岩崎萌
- 女子4×400mR 優勝 三ヶ島如菜、森愛里、北村和望、岩崎萌

<弓道部>

- 令和2年度佐世保地区新人体育大会弓道競技 女子団体 第3位

<美術部>

- 赤い羽根クオカードデザイン募集
- 優秀賞 原田玲香
- 佳作 茅原 舞

<書道部>

- 令和2年度長崎県高等学校文化連盟書道部門大会揮毫大会
- 優秀賞 浦川七海(九州大会出場)
- 里村歩、豊村未夢、西澤礼華、宮城心々実